

法遍寺 から大切な 皆様へ

2020年2月1日

日蓮正宗 年間方針

御命題達成の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歓喜の実践

境涯開く御題目を
正しい姿勢で実践

② 異体同心の折伏で

広布へ前進

僧俗和合

講中一結

③ 御講と登山の推進で

人材育成

罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2020年1月1日の新年勤行会の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

2月16日は日蓮大聖人様が、房州の小湊にお生まれあそばされた日です。大聖人様は『聖人御難事』に、「もし日蓮が末法に生まれ現れなかったならば、釈迦仏は大妄語の人となる」(趣意 御書1397頁)と仰せです。歴史上、勝手に高僧になった人とは違い、大聖人様は釈尊が末法という未来に新しい仏様がでてくるぞと「法華経」に約束せられたお方です。末とは「すえ」ではなく「無」の意味です。法がなくなったの意味です。釈迦仏の仏法がなくなったのです。大聖人様は釈尊の本因の修行のお姿であり、妙法という本法を所持する御本仏であります。この仏の下種益の時に私たちも生まれたのです。さあ、私たちは直接大慈悲の手をさしのべてくださる仏様の御誕生日、2月16日をお祝いしましょう。そして広宣流布のために下種折伏に励み、自己の生命を磨いていきましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ ～学会指導の変遷～

平成3年以降、創価学会は日顕上人にまつわる「シアトル事件」なる話をでっち上げ、創価新報などで喧伝していきました。洗脳された会員たちは、その報道を鵜呑みにし、日顕上人への罵倒を繰り返しました。創価学会は、御法主上人の尊厳性を会員の概念から取り除くことが目的だったのです。戸田二代会長は次のように語っています。「学会は狛座のことは、一切関知せぬ大精神で通してきたし、今後も、この精神で一貫する。これを破る者は、たとえ大幹部といえども即座に除名する。(中略)狛座のことに意見をふりまわして没落した罰当たり者があったそうだが、仏法の尊厳をそこなう者は当然そうなる」(戸田城聖全集 3巻235頁)と。この没落の道を取るか、真の幸福の実現のため日蓮正宗の信仰をとるか。大きな決断が必要です。お待ちしております。

③ 正しい信仰を求めている人へ ～自己の生命を磨く～

手を合わせる「合掌」とは、清浄な心を養う修行の姿です。十指は「十界互具」といい、誰にでもある十の境界(生命)が互いに関連した姿を表しています。その手を胸に当てることは十界の生命を括り、禪定の落ち着きに納めることを表します。日蓮大聖人の御本尊に合掌すると、我が胸中にある心性の白蓮華に御本尊の心と自分の心が一緒に通じて感応を起こします。そして南無妙法蓮華経と深く信じて唱えるところは「無作(むさ)」という境界が生まれます。繕わない本当の尊い自分が顕われるのです。自己の尊い生命を磨くとともに、社会に平和をもたらす崇高な教えを正しく信仰することは、人間として最も誇るべきことです。日蓮正宗法遍寺においでください。